



動物園ブランディング

## 石山 怜奈

Rena Ishiyama

出身 山形県山形市

所属 商工観光課

任期 R6.4～

## 協力隊にQ&A

Q.協力隊になったきっかけは？

A.大学生のときに、河北町児童動物園を題材にブランディング提案をしたことです。

Q.河北町の好きなところは？

A.どんがホールという地域の交流施設です。さまざまな「人」「もの」「こと」と繋がることのできる場所です。

活動紹介1

## 動物園の可能性を探求

### 1.地域と一緒に動物園を考える

4月から5月にかけて、役場職員や町民の方々に向けて、動物園のブランディング提案のプレゼンを12回実施しました。延べ62名にご参加いただき、今後協力隊としてどんなことに取り組みたいかを参加者の皆さんと共有し、意見交換をしました。その後も町内の交流の場や事業者の方々を訪ね、動物園を通じて共にできることを模索しています。

### 2.生き物に関する施設の訪問

今年度は生き物に関する施設や団体、研究者を多く訪ねました。最初の成果として、動物園で死亡した個体を標本用に山形県立博物館へ提供する取り組みが開始しました。救護された際の情報を活用し、山形の自然環境や種の研究に役立つことを願っています。

### 3.アート・デザインで効果的に伝える

山形県内で活動するアーティストや東北芸術工科大学の学生が制作した生き物に関する作品の展示を企画しています。展示内容に連動したワークショップも開催予定です。



活動紹介2

## 動物園やお祭りのデザイン・広告制作

### 1.動物園のデザイン制作

河北町児童動物園の取り組みに関するお知らせポスターやSNS投稿用の画像を制作しました。新施設の本棚に収蔵する本を募るために制作したポスターは、多くの方々にご協力いただき、町内外20箇所以上に掲示中です。2月28日現在、300冊以上の本が集まりました。皆様の動物園に対するあたたかいご支援に感謝申し上げます。

今後の抱負

## 動物も人も町も健やかになるしくみづくり



また、動物園の新施設の設計業者様、サイン制作会社様より依頼を受け、サイン・ピクトグラムを制作しました。長期間使用される公共施設のサイン計画に携わる、貴重な機会となりました。

### 2.お祭り・イベントの広告制作

商工観光課の業務として、お祭りやイベントのSNS広告・YouTube広告動画を制作しました。紅花資料館で開催されるイベントの広告制作では、チラシ・ポスターとの連動で課題がありました。来年度はチラシ・ポスターの制作にも参加することで解決できないかと考えています。

動物園の飼育員・学芸員さんや役場職員・地域みなさんが同じ思いを持って動物園に関わるようになること、そして動物園を基軸にお金と情報が循環するしくみを作り、動物も人も町も健やかになる、それが続いていくことが目標です。